

## 資料 1

### 報告：水族展示室の水槽破損事故について

#### 【概要】

令和 5 年 2 月 10 日の開館前に、水族展示室にある「琵琶湖の主（ぬし）水槽」（通称：ビワコオオナマズ水槽、直径 5.1m、高さ 3.8m、水量 78t）が破損した。その際に発生した水流と破片によって水族展示室内の通路壁が損傷し、当該水槽の周囲が広範囲に浸水するなどの大きな被害が発生した。幸い開館前であり、破損当時、周辺に来館者・職員がいなかったため人的被害はなかった。その日から、水族展示室を閉鎖して、破損した水槽周りの復旧のほか、水族展示室の全水槽について安全確認を実施した。また、水族展示室の閉鎖中だった 3 月 2 日には、ふれあい水槽に亀裂が発生したことが水族飼育員により報告された。

事故原因について、水族館の水槽や建築設計に関する専門家をメンバーとする「滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故にかかる第三者委員会」（以下、第三者委員会）を設立して、原因推定を行なってきた。

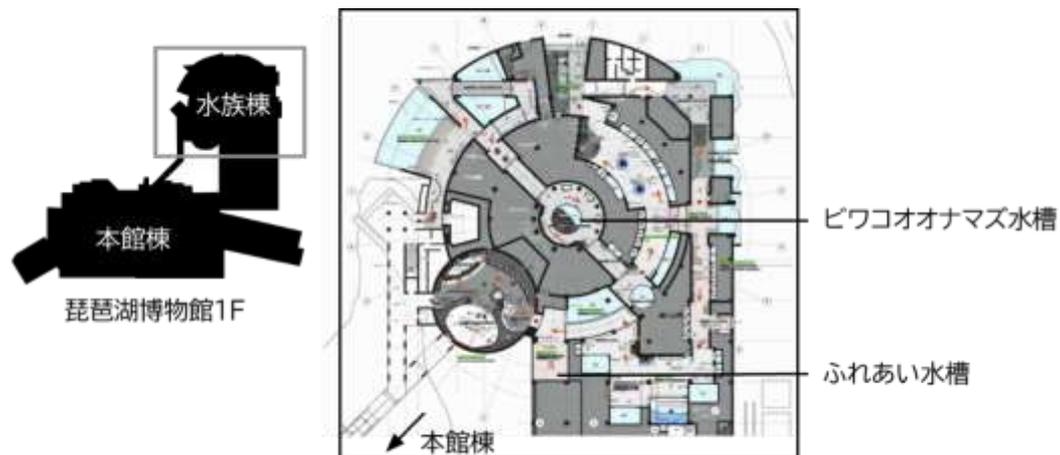


図1 破損事故が発生した水槽の位置

#### 【事故後の対応】

令和 5 年 2 月 10 日朝（8 時頃）にビワコオオナマズ水槽が破損し、周辺に水槽の水がたまっている状況が確認された。その後の対応については下記の通り。

##### ・破損した水槽の対応

事故確認後、直ちに水族展示室の閉鎖を行った。破損した水槽の破片などに注意しながら、職員による人力とポンプによって、ビワコオオナマズ水槽周辺の広範囲に広がっていた水の排水を行った。排水は 15 時頃に完了した。排水完了の前に、水槽にいたビワコオオナマズが救出された。

水族展示室閉鎖中の 3 月 2 日 17 時頃に、ふれあい水槽から亀裂が確認された（漏水なし）。危険防止のため、水槽の水を抜き、亀裂の状態を確認した。

## ・水族展示室の閉鎖

事故確認後、職員も含め、安全が確認されるまでは関係者以外の立ち入りを禁止した（他展示室は通常どおり）。水槽の安全点検、破損の恐れがある水槽の落水などを実施し、水族展示室の観覧が可能と判断された5月9日からの再開。水族展示室閉鎖は2月10日～5月8日の期間。なお、2月11日から再開までの期間中は、水族展示室閉鎖に伴う観覧料金の減額（一般550円）を行った。

## ・水槽等の点検

水槽破損後、全ての水槽について目視による点検をした。また、この事故を機に、第三者委員会の助言のもとで、アクリル水槽業者による水族展示室再開のための全水槽の点検および管理体制の見直しを行った。この点検により、危険性が高いと判断された水槽の水を抜いた。破損した水槽と同形状のコアユ水槽については、潜水による点検を行い、ひび割れ等の危険と考えられる部分は確認できなかったが、同型で同時期に設置されたものであることから、安全を優先し3月10日に水を抜いた。第1回第三者委員会で危険性が指摘されたトンネル水槽については、3月19・20日に水抜きを行った。

現時点では、破損したビワコオオナマズ水槽を含めて、13の水槽の水を抜いている。

水槽の破損およびその後の浸水に伴う建物床面への影響を滋賀県土木交通部建築課立会いのもとで調査した結果、亀裂、ひび割れは無く、建物の床の損傷等は確認されなかった。また、床の水平レベルに問題はなかった。

## 【第三者委員会】

水族館の水槽に関する6名の専門家による、事故原因推定のための委員会として設立された（委員長：岡田尚憲 日本動物園水族館協会事務局長、当時）。

第1回 3月11日。現場検証と原因推定のための討議。水槽の設置状況などの情報収集の要望。

第2回 3月29日（オンライン会議）。事故原因推定のための工事や調査の進捗報告、水槽の安全管理体制についての意見。

第3回 6月7日。アクリル・擬岩・床面を撤去した状態で水槽内部側の詳細な状況の確認、水槽設置基部の構造の確認等を行い、想定される原因議論。

第4回 8月10日（予定）。

最終的には、第三者委員会による事故調査報告書がまとめられて報告される予定。

## 【水族展示室の状況】

### ・水を抜いた水槽

トンネル水槽のほか、見られる状態で水を抜いている水槽は10件あり、それら水槽の多くは、液浸標本や解説パネルの展示を行っている。また、水を抜いた水槽で展示紹介していた種類の魚は、一般的な置き型水槽や他の展示水槽にて展示を行い、2月10日以前の種数以上を保っている。

### ・ビワコオオナマズ水槽とコアユ水槽

破損したビワコオオナマズ水槽は、水槽を構成していたアクリルや擬岩等を撤去し、囲い壁を設けて通路を確保している。同型のコアユ水槽は、水を抜き、囲い壁を設けて見えないよう

になっている。これら水槽付近は、囲い壁による壁を利用して、水族展示に関連する内容でイラスト募集を行い、できるだけ多くの応募作品を掲示する企画を実施中。三期に分けて募集を行い、第一期目の現在は、「琵琶湖の魚」をテーマに募集中で、8月1日～10月29日に展示を行う。それと同時に、メッセージの掲載や、魚の図の塗り絵などの企画も検討している。